

施設名	まつがや高齢者在宅サービスセンター	指定管理者の名称	(福)東京援護協会																																																																																																												
1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）																																																																																																															
<p>【概要】社会福祉法人東京援護協会は、時代の要請に基づき先駆的に社会福祉の充実を図るため、昭和24年5月に財団法人として設立し、昭和27年5月に社会福祉法人に組織変更した。</p> <p>【業務内容】1. 高齢者部門 = 特別養護老人ホーム(4施設) ケアハウス(1施設) 高齢者在宅サービスセンター(6施設) 居宅介護支援事業所(6施設) 在宅介護支援センター(2施設) 地域包括支援センター(3施設)</p> <p>2. 障害者部門 = 知的障害者更生施設(2施設) 知的障害者授産施設(4施設) 身体障害者授産施設(3施設)</p> <p>3. その他部門 = 措置施設(3施設)</p> <p>【経営の状況】(17年度決算ベース)</p> <p>〔社会福祉事業会計〕歳入 2,725,263,458円、歳出 2,674,613,067円、収支差額 50,650,391円</p> <p>〔社会福祉授産特別会計〕歳入 789,455,181円、歳出 770,262,017円、収支差額 19,193,164円</p> <p>〔公益事業会計〕歳入 12,618,403円、歳出 13,353,333円、収支差額 734,930円</p>																																																																																																															
2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要・特徴、入所者数・対象者数等）																																																																																																															
<p>【所在地】台東区松が谷4-4-3</p> <p>【開設】平成8年6月1日（10年経過）</p> <p>【建物概要】延べ床面積 4671㎡のうち1306㎡ ケアハウス松が谷内 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造地上8階地下2階のうち2階の一部</p> <p>【入所定員】35名</p> <p>【職員数】16名（平成18年4月現在） （内訳）施設長(兼任1)、相談員(1)、介護職員(常勤4、非常勤6)、看護師(2)、管理栄養士(兼務1)、事務員(1)</p>																																																																																																															
3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴、事業の目標(利用者数等)、自主事業）																																																																																																															
<p>【事業の概要】 通所介護サービス（送迎・食事・生活介護・機能訓練・口腔ケア・栄養指導・レクリエーション、相談等） 介護予防通所介護サービス（送迎・食事・運動器機能向上訓練・口腔ケア・栄養ケア、アクティビティ等）(定員は2つの事業を合わせて1日あたり35名)</p> <p>【事業の特徴】どの曜日にも機能訓練指導員としてPTまたはOT、看護師を配置して個別評価を実施し、個別プログラムの作成及び実施をチーム全体で力を注いでいる。また毎日、午前中のプログラムとして頭の体操・体の体操・お口の体操（嚥下体操）を実施し、昼食後にはほぼ全員に口腔ケアを実施している。</p> <p>【事業の目標】通所介護サービスは送迎体制と活動内容を充実させ、6～8時間利用を基本設定としている。稼働率は通所介護・介護予防通所介護の両サービスを合計して85%以上を目指し、そのためには常に定員に対しての登録率を常に110%以上に保ち続けるように努める。</p> <p>【自主事業】自主事業は行っていない。</p>																																																																																																															
4. 施設の稼働状況（利用実績(利用者数等)、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）																																																																																																															
<p>【稼働率目標】85%に設定。17年度の実績は82.8%。</p> <p>17年度延べ利用人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単位時間</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6~8</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>4~6</td> <td>658</td> <td>671</td> <td>687</td> <td>685</td> <td>688</td> <td>701</td> <td>697</td> <td>661</td> <td>626</td> <td>607</td> <td>638</td> <td>710</td> <td>8029</td> </tr> <tr> <td>3~4</td> <td>64</td> <td>71</td> <td>75</td> <td>70</td> <td>84</td> <td>75</td> <td>83</td> <td>83</td> <td>63</td> <td>71</td> <td>75</td> <td>77</td> <td>891</td> </tr> <tr> <td>2~3</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>723</td> <td>742</td> <td>762</td> <td>755</td> <td>772</td> <td>777</td> <td>780</td> <td>744</td> <td>689</td> <td>678</td> <td>713</td> <td>787</td> <td>8922</td> </tr> <tr> <td>利用率(%)</td> <td>79.5</td> <td>81.5</td> <td>83.7</td> <td>83.0</td> <td>81.7</td> <td>85.4</td> <td>85.7</td> <td>81.8</td> <td>82.0</td> <td>80.7</td> <td>84.9</td> <td>83.3</td> <td>82.8</td> </tr> </tbody> </table>														単位時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	6~8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4~6	658	671	687	685	688	701	697	661	626	607	638	710	8029	3~4	64	71	75	70	84	75	83	83	63	71	75	77	891	2~3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	計	723	742	762	755	772	777	780	744	689	678	713	787	8922	利用率(%)	79.5	81.5	83.7	83.0	81.7	85.4	85.7	81.8	82.0	80.7	84.9	83.3	82.8
単位時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計																																																																																																		
6~8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																		
4~6	658	671	687	685	688	701	697	661	626	607	638	710	8029																																																																																																		
3~4	64	71	75	70	84	75	83	83	63	71	75	77	891																																																																																																		
2~3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2																																																																																																		
計	723	742	762	755	772	777	780	744	689	678	713	787	8922																																																																																																		
利用率(%)	79.5	81.5	83.7	83.0	81.7	85.4	85.7	81.8	82.0	80.7	84.9	83.3	82.8																																																																																																		
5. 予算決算の推移 （単位：円）																																																																																																															
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度																																																																																																									
予 算	貸金補助費	42,939,000	39,379,000																																																																																																												
	料金収入等	56,844,000	69,022,000																																																																																																												
	管理経費	99,783,000	108,401,000																																																																																																												
決 算	貸金補助費	34,772,673																																																																																																													
	料金収入等	59,237,459																																																																																																													
	管理経費	96,446,661																																																																																																													
	収 支	-2,436,529																																																																																																													

6. 評価項目		
施設によるサービス提供		
(1)利用時間等の遵守[3]、(2)施設提供のための適正な人員配置[3]、(3) 設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認、案内等の対応と接遇 [3]、(6)苦情等への対応と報告[3]、(7)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3]、(8)利用実績[3]		
【標準 8 項目、本施設は 8 項目を評価】		
事業		
(1)施設の目的に沿ってサービスを提供できているか[3]、(2)事業実施のための適正な人員配置[3]、(3)情報提供・接遇[4]、(4)利用者数等の目標達成[3]、(5)自主事業はサービス向上に役立ったか[-]、(6)自主事業の利用実績[-]、(7)苦情等への対応と報告[3]、(8)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3]		
【標準 8 項目、本施設は 6 項目を評価】		
施設の管理		
(1)建物保守管理・設備機器安全確認[3]、(2)個人情報保護[3]、(3)備品の管理[3]、(4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3]、(7)業務の外部委託[3]、(8)震災等への対応[3]、(9)関係団体・地域との連絡調整[4]、(10)管理記録[3]		
【標準 10 項目、本施設 10 項目を評価】		
歳入歳出		
(1)管理経費等の縮減、縮減努力[4]、(2)事業経費見直しによる収支改善努力 [5]、(3)利用者増等による収支改善努力[4]		
【標準 3 項目、本施設は 3 項目を評価】		
7. 評価		
「A+」(優良): 協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。		
「A」(妥当): 協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。		
「A-」(課題あり): 協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成しているが、一部に課題がある。		
「B」(要改善): 一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
施設によるサービス提供	A	利用者からの評価も全体的に高く、良好なサービス提供が行われている。現在のサービス水準を落とさずに、より一層のサービスの向上を図っていく。
事業(区の事業、自主事業)	A	各項目とも良好に行われている。
施設の管理(補修、緊急対応等)	A	施設側で対応できる範囲においては良好な管理が行われている。開設から 10 年が経過しており、日常的な保全管理を適切に行う。
歳入歳出	A	サービス利用時間の拡大により、人件費等が増加したため、管理経費が増えているが、補助金は減少している。
総合評価	A	全体的に良好である。
8. 課題への対応		
サービスの提供等において、全体的に良好であるため、現在の水準を落とさずに、より一層の向上を図っていく。施設管理の面においては、計画的な修繕・保全に努めていく。		

指定管理者施設管理評価シート（H18）		部	保健福祉部	課	高齢福祉課																																				
施設名	ケアハウス松が谷	指定管理者の名称	(福)東京援護協会																																						
1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）																																									
<p>【概要】 社会福祉法人東京援護協会は、昭和18年に下谷区神吉町（現在の台東区東上野）の民間人や軍人の移動に伴う宿泊や食事供与を行ったのが始まりで、昭和24年5月に財団法人として設立し、昭和27年5月に社会福祉法人に組織変更した。</p> <p>【業務内容】 1. 高齢者部門＝特別養護老人ホーム（4施設）、ケアハウス（1施設）、高齢者在宅サービスセンター（6施設）、居宅介護支援事業所（6施設）、在宅介護支援センター（2施設）、地域包括センター（3施設）</p> <p>2. 障害者部門＝知的障害者更生施設（2施設）、知的障害者授産施設（4施設）、身体障害者授産施設（3施設）</p> <p>3. その他部門＝措置施設（3施設）</p> <p>【経営の状況】（17年度決算ベース）</p> <table border="0"> <tr> <td>〔社会福祉事業会計〕</td> <td>歳入</td> <td>2,725,263,458</td> <td>〔社会福祉授産特別会計〕</td> <td>歳入</td> <td>789,455,181</td> </tr> <tr> <td></td> <td>歳出</td> <td>2,674,613,067</td> <td></td> <td>歳出</td> <td>770,262,017</td> </tr> <tr> <td></td> <td>収支差額</td> <td>50,650,391</td> <td></td> <td>収支差額</td> <td>19,193,164</td> </tr> <tr> <td>〔公益事業会計〕</td> <td>歳入</td> <td>12,618,403</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>歳出</td> <td>13,353,333</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>収支差額</td> <td>734,930</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						〔社会福祉事業会計〕	歳入	2,725,263,458	〔社会福祉授産特別会計〕	歳入	789,455,181		歳出	2,674,613,067		歳出	770,262,017		収支差額	50,650,391		収支差額	19,193,164	〔公益事業会計〕	歳入	12,618,403					歳出	13,353,333					収支差額	734,930			
〔社会福祉事業会計〕	歳入	2,725,263,458	〔社会福祉授産特別会計〕	歳入	789,455,181																																				
	歳出	2,674,613,067		歳出	770,262,017																																				
	収支差額	50,650,391		収支差額	19,193,164																																				
〔公益事業会計〕	歳入	12,618,403																																							
	歳出	13,353,333																																							
	収支差額	734,930																																							
2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要・特徴、入所者数・対象者数等）																																									
<p>【所在地】 台東区松が谷4-4-3</p> <p>【開設】 平成8年6月1日（10年経過）</p> <p>【建物概要】 延べ床面積 4,671㎡ 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造地上8階地下2階 駐車場、ホール・ラウンジ室、浴室（機械浴、一般）、食堂、相談室、居室など</p> <p>【入所定員】 38名</p> <p>【職員数】 7名 （内訳）施設長（兼務1）、事務員（1）、生活相談員（1）、介護職員（3）、栄養士（非常勤1）</p>																																									
3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴、事業の目標（利用者数等）、自主事業）																																									
<p>【事業の概要】 栄養士の献立管理による食事（3食）提供、社会福祉専門職による各種相談、趣味活動及び季節行事の支援、外部介護保健サービスの導入と対応、年間防災訓練の実施、近隣地域との交流</p> <p>【事業の特徴】 入居者が安心して自立した生活が続けられるよう、個別対応に重点を置き、介護予防の充実を図り満足度の高い生活支援に努めている。介護が必要になった場合は、介護保健サービス等の外部サービスを導入し、緊急時には迅速な対応を行う。</p> <p>【事業の目標】 空室期間の短縮を図り、効率性の高い入居率を目指す。また、福祉サービス第三者評価による取組みを継続して行い、サービスの質の向上に努める。</p>																																									
4. 施設の稼働状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）																																									
【利用実績】 入所者数（人）																																									
年度/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																													
15年度	36	36	35	34	35	37	38	37	37	38	37	38																													
16年度	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	37																													
17年度	37	37	37	38	38	37	37	37	37	37	37	37																													
5. 予算決算の推移 （単位：円）																																									
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度																																			
予 算	貸金補助対価	96,502,000	95,055,000																																						
	料金収入等	2,426,000	3,986,000																																						
	管理経費	98,928,000	99,041,000																																						
決 算	貸金補助対価	90,460,366																																							
	料金収入等	3,248,940																																							
	管理経費	93,709,306																																							
	収 支	0																																							

6. 評価項目		
施設によるサービス提供		
(1)利用時間等の遵守[-]、(2)施設提供のための適正な人員配置[3]、(3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認、案内等の対応と接遇[3]、(6)苦情等への対応と報告[3]、(7)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3]、(8)利用実績[3]		
【標準 8 項目、本施設は 6 項目を評価】		
事業		
(1)施設の目的に沿ってサービスを提供できているか[3]、(2)事業実施のための適正な人員配置[3]、(3)情報提供・接遇[3]、(4)利用者数等の目標達成[3]、(5)自主事業はサービス向上に役立ったか[-]、(6)自主事業の利用実績[-]、(7)苦情等への対応と報告[3]、(8)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3]		
【標準 8 項目、本施設は 6 項目を評価】		
施設の管理		
(1)建物保守管理・設備機器安全確認[3]、(2)個人情報保護[3]、(3)備品の管理[3]、(4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3]、(7)業務の外部委託[3]、(8)震災等への対応[3]、(9)関係団体・地域との連絡調整[4]、(10)管理記録[3]		
【標準 10 項目、本施設は 10 項目を評価】		
歳入歳出		
(1)管理経費等の縮減、縮減努力[4]、(2)事業経費見直しによる収支改善努力[3]、(3)利用者増等による収支改善努力[3]		
【標準 3 項目、本施設は 3 項目を評価】		
7. 評価		
「A+」(優良):協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。		
「A」(妥当):協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。		
「A-」(課題あり):協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成しているが、一部に課題がある。		
「B」(要改善):一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
施設によるサービス提供	A	管理の基準を達成するとともに、第三者評価の指摘に基づき、ケアマネジャーを相談員として活用することで、入所者への相談体制を整えている。
事業(区の事業、自主事業)	A	各項目とも良好なサービス提供が行われている。
施設の管理(補修 緊急対応等)	A	施設竣工後 10 年を経過し、施設の修繕や備品の買い替え等、計画的な管理運営を行う。個人情報保護については第三者評価に基づき、改善が見られた。
歳入歳出	A	平成 17 年度から都からの補助金がなくなったため、収入額が減少したが、人件費の圧縮等で歳出の削減に努めている。
総合評価	A	平成 16 年度から業務を委託しているため、指定管理者制度移行後も、大きな混乱もなく業務が行われ、概ね良好に管理されている。
8. 課題への対応		
施設の維持保全、物品の管理・購入については計画的に行っていく。		

指定管理者施設管理評価シート（H18）		部	保健福祉部	課	障害福祉課																																																													
施設名	身体障害者生活ホーム フロム千束	指定管理者の名称	社会福祉法人台東つばさ福祉会																																																															
1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）																																																																		
<p>【概要】台東つばさ福祉会は、台東区内の障害者施設を体系的に整備・運営し、台東区の障害者福祉の向上に寄与することを目指して、平成6年4月に設立された社会福祉法人である。</p> <p>【業務内容】障害者福祉施設（身体障害者通所授産施設1、身体障害者生活ホーム1、知的障害者グループホーム6）の運営、知的・身体・児童短期入所事業の運営、就労支援事業の受託運営</p> <p>【経営の状況】（平成17年度決算）</p> <table border="1"> <tr> <td>〔社会福祉法人会計〕</td> <td>歳入</td> <td>128,693,064円</td> <td>歳出</td> <td>127,719,314円</td> <td>収支差額</td> <td>973,750円</td> </tr> <tr> <td>〔授産施設特別会計〕</td> <td>歳入</td> <td>107,767,519円</td> <td>歳出</td> <td>107,381,519円</td> <td>収支差額</td> <td>386,000円</td> </tr> <tr> <td>〔公益事業特別会計〕</td> <td>歳入</td> <td>74,744,600円</td> <td>歳出</td> <td>75,305,875円</td> <td>収支差額</td> <td>561,275円</td> </tr> </table>						〔社会福祉法人会計〕	歳入	128,693,064円	歳出	127,719,314円	収支差額	973,750円	〔授産施設特別会計〕	歳入	107,767,519円	歳出	107,381,519円	収支差額	386,000円	〔公益事業特別会計〕	歳入	74,744,600円	歳出	75,305,875円	収支差額	561,275円																																								
〔社会福祉法人会計〕	歳入	128,693,064円	歳出	127,719,314円	収支差額	973,750円																																																												
〔授産施設特別会計〕	歳入	107,767,519円	歳出	107,381,519円	収支差額	386,000円																																																												
〔公益事業特別会計〕	歳入	74,744,600円	歳出	75,305,875円	収支差額	561,275円																																																												
2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要・特徴、入所者数・対象者数等）																																																																		
<p>【所在地】台東区千束3-28-13</p> <p>【開設】平成6年6月1日</p> <p>【建物概要】千束保健福祉センター内 RC造 地上7階地下2階のうち2階の一部 延6,733.87㎡のうち2階337.08㎡ 居室7、介護人室2、食堂、浴室、洗濯室、トイレ</p> <p>【利用定員】7名（入居事業5、自立生活体験事業2）</p> <p>【職員数】固有常勤4名（生活支援員4名） 固有非常勤2名（生活支援員2名）</p>																																																																		
3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴、事業の目標(利用者数等)、自主事業）																																																																		
<p>【事業の概要】入居事業（定員5名）と自立生活体験事業（定員2名）及び自立生活援助事業を実施。利用者の食事や入浴等の日常生活行為全般の援助を行い、地域社会での自立生活を目指す。</p> <p>【事業の特徴】入居事業では、福祉ホームを生活の拠点として入居してもらい、一人ひとりの個性にあった地域における自立生活を送るための支援を行っている。自立生活体験事業では、在宅の身体障害者に一定期間（2～3か月間）の入居生活を体験してもらうことによって、自立生活能力の向上を目指している。また、平成7年1月からは在宅の障害者を対象に入浴や食事などのサービスを提供する自立生活援助事業を実施し、在宅障害者の自立生活を支援している。</p> <p>【自主事業】なし</p>																																																																		
4. 施設の稼働状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）																																																																		
<p>【利用実績】（平成17年度）</p> <p>入居事業（定員5名）・・・男性2名、女性3名 年齢29～42歳</p> <p>自立生活体験事業（定員2名）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>女</th> <th>女</th> <th>女</th> <th>女</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>男</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>女</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年齢</td> <td>20代</td> <td>40代</td> <td>20代</td> <td>20代</td> <td>30代</td> <td>30代</td> <td>20代</td> <td>20代</td> <td>30代</td> <td>30代</td> </tr> <tr> <td>利用期間</td> <td>4・7 2月</td> <td>4・11 1月</td> <td>5・8 9月</td> <td>5・8 11・12月</td> <td>6・12 月</td> <td>6月</td> <td>7・2 月</td> <td>9・1 月</td> <td>10・3 月</td> <td>10・3 月</td> </tr> </tbody> </table> <p>自立生活援助事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年月</th> <th>17.4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>18.1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>22</td> <td>21</td> <td>16</td> <td>23</td> <td>35</td> <td>22</td> <td>19</td> <td>270</td> </tr> </tbody> </table>						性別	女	女	女	女	男	女	男	男	女	女	年齢	20代	40代	20代	20代	30代	30代	20代	20代	30代	30代	利用期間	4・7 2月	4・11 1月	5・8 9月	5・8 11・12月	6・12 月	6月	7・2 月	9・1 月	10・3 月	10・3 月	年月	17.4	5	6	7	8	9	10	11	12	18.1	2	3	計	件数	22	23	22	22	23	22	21	16	23	35	22	19	270
性別	女	女	女	女	男	女	男	男	女	女																																																								
年齢	20代	40代	20代	20代	30代	30代	20代	20代	30代	30代																																																								
利用期間	4・7 2月	4・11 1月	5・8 9月	5・8 11・12月	6・12 月	6月	7・2 月	9・1 月	10・3 月	10・3 月																																																								
年月	17.4	5	6	7	8	9	10	11	12	18.1	2	3	計																																																					
件数	22	23	22	22	23	22	21	16	23	35	22	19	270																																																					
5. 予算決算の推移 （単位：円）																																																																		
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度																																																												
予 算	貸金補助対価	34,224,000	31,383,000																																																															
	料金収入等	1,986,000	2,920,000																																																															
	管理経費	36,210,000	34,303,000																																																															
決 算	貸金補助対価	30,101,120																																																																
	料金収入等	2,017,351																																																																
	管理経費	32,118,471																																																																
	収 支	0																																																																

6. 評価項目		
施設によるサービス提供		
(1)利用時間等の遵守[3]、(2)施設提供のための適正な人員配置[3]、(3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認、案内等の対応と接遇[3]、(6)苦情等への対応と報告[3]、(7)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3]、(8)利用実績[3]		
【標準 8 項目、本施設は 8 項目を評価】		
事業		
(1)施設の目的に沿ってサービスを提供できているか[3]、(2)事業実施のための適正な人員配置[3]、(3)情報提供・接遇[3]、(4)利用者数等の目標達成[3]、(5)自主事業はサービス向上に役立ったか[3]、(6)自主事業の利用実績[3]、(7)苦情等への対応と報告[3]、(8)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3]		
【標準 8 項目、本施設は 8 項目を評価】		
施設の管理		
(1)建物保守管理・設備機器安全確認[-]、(2)個人情報保護[3]、(3)備品の管理[3]、(4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[-]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3]、(7)業務の外部委託[3]、(8)震災等への対応[3]、(9)関係団体・地域との連絡調整[3]、(10)管理記録[3]		
【標準 10 項目、本施設は 8 項目を評価】		
歳入歳出		
(1)管理経費等の縮減、縮減努力[3]、(2)事業経費見直しによる収支改善努力[3]、(3)利用者増等による収支改善努力[3]		
【標準 3 項目、本施設は 3 項目を評価】		
7. 評価		
「A+」(優良):協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。		
「A」(妥当):協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。		
「A-」(課題あり):協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成しているが、一部に課題がある。		
「B」(要改善):一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
施設によるサービス提供	A	概ね良好なサービス提供がなされている。
事業(区の事業、自主事業)	A	入居事業(定住)の稼働率は 97.6%、体験入居の稼働率は 100%となっていて利用率が高い。自立生活援助事業の浴室提供や食事提供(ランチ)、相談事業においても業務実績(270件)を更に高めていく。
施設の管理(補修、緊急対応等)	A	備品及び物品の管理は、概ね適切になされている。
歳入歳出	A	現状では妥当であるが、今後は、さらに経費の削減に努め、効率的な運営を目指す。
総合評価	A	指定管理者による施設管理は概ね適切である。
8. 課題への対応		
○自立生活援助事業において、浴室や食事の提供(ランチ)の実績増加をどのようにしたらでき得るか、障害者自立支援法の施行に伴う事業体系の移行のなかで、事業の拡充に必要な要件を指定管理者とともに調査、検討を行なう。		

指定管理者施設管理評価シート（H18）		部	企画財政部	課	文化振興課									
施設名	東京都台東区立下町風俗資料館	指定管理者の名称	(財)台東区芸術文化財団											
1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）														
<p>【概要】 芸術文化・スポーツの一層の向上に資する各種事業を行い、区民の自主的な活動を促進し、もって豊かな区民生活の向上と地域の発展に寄与することを目的に、平成11年4月1日に設立。</p> <p>【所在地】 台東区下谷1-2-11</p> <p>【業務内容】 芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施。 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営 管理施設 文化施設（5）、スポーツ施設（7）、その他施設（浅草公会堂）</p> <p>【経営の状況】 17年度決算 歳入 1,315,036,034 歳出 1,192,502,811 収支差額 122,533,223</p>														
2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要・特徴、入所者数・対象者数等）														
<p>【所在地】 台東区上野公園2-1</p> <p>【開設】 昭和55年10月1日</p> <p>【建物概要】 延べ床面積 1,071.16㎡ RC造 地上3階地下1階建 塔屋 収蔵庫、荷解作業室、燻蒸室、更衣室、機械室、身障者用便所、展示室、休憩室、事務室、エントランスルーム、図書室、写真室、暗室、エレベータ機械室など</p> <p>【職員数】 8名 固有職員(1) 派遣職員(2) 再任用(1) 嘱託員(1) 専門員(3)</p> <p>【サービス提供の概要】 資料の収集、保管及び展示公開に関すること 下町風俗資料館付設展示場（旧吉田屋酒店）台東区上野桜木2-10-6 昭和62年4月1日開設 木造2階建</p>														
3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴、事業の目標(利用者数等)、自主事業）														
<p>【事業の概要】 下町の歴史、芸術、風俗、産業等に関する実物、標本、模型、文献などの資料の収集、保管及び展示。資料の利用に関する説明、助言、指導。資料に関する調査・研究などの事業 資料に関する講演会等の開催、企画展示や移動展示、他の博物館、図書館、学校等の教育又は文化施設との協力事業など 施設、付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓・その他環境整備などの事業 施設使用料徴収などの事業</p> <p>【自主事業】 施設特別展 芸術・技術実演会 文化・芸術講座 歴史に親しむ集い</p>														
4. 施設の稼働状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）														
<p>【目標】 入館者数 73,000人</p> <p>【利用実績】 ・入館者数</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開館日数(日)</td> <td>296</td> <td>284</td> </tr> <tr> <td>入場者数(人)</td> <td>67,677</td> <td>65,681</td> </tr> </tbody> </table> <p>参考 平成17年度自主事業 施設特別展(10/1～1/29) 期間中入館者 19,752人 文化・芸術講座 歴史に親しむ集い(11/12) 75人</p>							16年度	17年度	開館日数(日)	296	284	入場者数(人)	67,677	65,681
	16年度	17年度												
開館日数(日)	296	284												
入場者数(人)	67,677	65,681												
5. 予算決算の推移 （単位：円）														
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度								
予 算	貸金繰入等	18,835,000	18,515,000											
	料金収入等	0	0											
	管理経費	18,835,000	18,515,000											
決 算	貸金繰入等	16,378,473												
	料金収入等	0												
	管理経費	16,378,473												
	収 支	0												

6. 評価項目		
施設によるサービス提供		
(1)利用時間等の遵守[3]、(2)施設提供のための適正な人員配置[3]、(3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[2]、(5)利用承認、案内等の対応と接遇[3]、(6)苦情等への対応と報告[3]、(7)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3]、(8)利用実績[3]		
【標準8項目、本施設は8項目を評価】		
事業		
(1)施設の目的に沿ってサービスを提供できているか[3]、(2)事業実施のための適正な人員配置[3]、(3)情報提供・接遇[3]、(4)利用者数等の目標達成[3]、(5)自主事業はサービス向上に役立ったか[3]、(6)自主事業の利用実績[3]、(7)苦情等への対応と報告[3]、(8)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3]		
【標準8項目、本施設は8項目を評価】		
施設の管理		
(1)建物保守管理・設備機器安全確認[3]、(2)個人情報保護[3]、(3)備品の管理[3]、(4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3]、(7)業務の外部委託[3]、(8)震災等への対応[3]、(9)関係団体・地域との連絡調整[3]、(10)管理記録[3]		
【標準10項目、本施設10項目を評価】		
歳入歳出		
(1)管理経費等の縮減、縮減努力[3]、(2)事業経費見直しによる収支改善努力[3]、(3)利用者増等による収支改善努力[3]		
【標準3項目、本施設は3項目を評価】		
7. 評価		
「A+」(優良):協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。		
「A」(妥当):協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。		
「A-」(課題あり):協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成しているが、一部に課題がある。		
「B」(要改善):一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
施設によるサービス提供	A-	来館者へのサービス提供は概ね良好である。緊急対応マニュアルを整備・充実する必要がある。
事業(区の事業、自主事業)	A	管理運営に関する業務は、円滑に実施されている。また、自主事業である施設特別展は、内容・方法を工夫し、好評を得ている。
施設の管理(補修、緊急対応等)	A	備品及び物品の管理は適切になされており、補修についてもその都度区に連絡が入っている。また、軽微な修繕については、協定書に則し、管理運営費で対応している。
歳入歳出	A	現状では妥当である。今後はさらに経費の削減に努め、効率的な運営を行うよう指示していく。
総合評価	A-	委託業務は円滑に実施されており、指定管理者の施設管理は概ね適切である。
8. 課題への対応		
施設管理は、概ね適切である。緊急対応マニュアルを整備・充実していく。		

指定管理者施設管理評価シート（H18）		部	企画財政部	課	文化振興課	
施設名	東京都台東区立一葉記念館	指定管理者の名称	(財)台東区芸術文化財団			
1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）						
【概要】 芸術文化・スポーツの一層の向上に資する各種事業を行い、区民の自主的な活動を促進し、もって豊かな区民生活の向上と地域の発展に寄与することを目的に、平成11年4月1日に設立。						
【所在地】 台東区下谷1-2-11						
【業務内容】 芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施。 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営 管理施設 文化施設(5) スポーツ施設(7) その他施設(浅草公会堂)						
【経営の状況】 17年度決算 歳入 1,315,036,034 歳出 1,192,502,811 収支差額 122,533,223						
2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要・特徴、入所者数・対象者数等）						
【所在地】 台東区竜泉3-18-4						
【開設】 昭和36年5月11日開設						
【施設概要】 <新記念館> 延べ床面積 838.6㎡ 鉄筋コンクリート造地上3階地下1階 塔屋 展示室、収蔵庫、学芸研究室、展示準備室、事務室、エントランスギャラリー、倉庫、研修室、小会議室（現在建設中。18年11月開館予定） 現在は、仮設展示場にて運営 台東区生涯学習センター3階展示ホール（台東区西浅草3-25-16）						
【職員数】 5名 派遣職員(1) 嘱託員(2) 専門員(2)						
【サービス提供の概要】 展示の公開						
3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴、事業の目標(利用者数等)、自主事業）						
【事業の概要】 樋口一葉に関する資料を展示公開、施設の利用に関する事業。 施設、付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓・その他環境整備などの事業 施設使用料徴収などの事業						
【自主事業】 施設特別展（一葉祭）						
4. 施設の稼動状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）						
【目標】 入館者数 35,000人						
【利用実績】						
・ 入館者数						
		平成16年度	平成17年度			
開館日数(日)		283	303			
入館者数(人)		47,677	13,063			
増減理由 平成17年2月より、施設の改築のため、仮設展示場での運営による減						
参考 平成17年度自主事業 施設特別展 講演会(11/23) 269人 パネル展示(11/22～11/25) 期間中入館者 1,690人						
5. 予算決算の推移 (単位:円)						
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	貸借対当表	6,654,000	23,750,000			
	料金収入等	0	0			
	管理経費	6,654,000	23,750,000			
決 算	貸借対当表	4,522,282				
	料金収入等	0				
	管理経費	4,522,282				
	収 支	0				

6. 評価項目		
施設によるサービス提供		
(1)利用時間等の遵守[3]、(2)施設提供のための適正な人員配置[3]、(3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[2]、(5)利用承認、案内等の対応と接遇[3]、(6)苦情等への対応と報告[3]、(7)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3]、(8)利用実績[3]		
【標準8項目、本施設は8項目を評価】		
事業		
(1)施設の目的に沿ってサービスを提供できているか[3]、(2)事業実施のための適正な人員配置[3]、(3)情報提供・接遇[3]、(4)利用者数等の目標達成[3]、(5)自主事業はサービス向上に役立ったか[3]、(6)自主事業の利用実績[3]、(7)苦情等への対応と報告[3]、(8)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3]		
【標準8項目、本施設は8項目を評価】		
施設の管理		
(1)建物保守管理・設備機器安全確認[3]、(2)個人情報保護[3]、(3)備品の管理[3]、(4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3]、(7)業務の外部委託[3]、(8)震災等への対応[3]、(9)関係団体・地域との連絡調整[3]、(10)管理記録[3]		
【標準10項目、本施設10項目を評価】		
歳入歳出		
(1)管理経費等の縮減、縮減努力[3]、(2)事業経費見直しによる収支改善努力[3]、(3)利用者増等による収支改善努力[3]		
【標準3項目、本施設は3項目を評価】		
7. 評価		
「A+」(優良):協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。		
「A」(妥当):協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。		
「A-」(課題あり):協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成しているが、一部に課題がある。		
「B」(要改善):一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
施設によるサービス提供	A-	管理の基準を遵守し、サービス提供がなされている。入館者数は減少しているが、仮展示室での運営のためやむを得ないものとする。緊急対応マニュアルを整備・充実する必要がある。
事業(区の事業、自主事業)	A	管理運営に関する事業は、円滑に実施されている。
施設の管理(補修、緊急対応等)	A	備品及び物品の管理は適切になされており、補修についてもその都度区に連絡が入っている。また、軽微な修繕については、協定書に則し、管理運営費で対応している。
歳入歳出	A	現状では妥当である。今後はさらに経費の削減に努め、効率的な運営を行うよう指示していく。
総合評価	A-	委託業務は円滑に実施されており、指定管理者の施設管理は概ね適切である。
8. 課題への対応		
施設管理は概ね適切である。緊急対応マニュアルを整備・充実していく。		